

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成24年8月16日(2012.8.16)

【公開番号】特開2011-259510(P2011-259510A)

【公開日】平成23年12月22日(2011.12.22)

【年通号数】公開・登録公報2011-051

【出願番号】特願2011-213205(P2011-213205)

【国際特許分類】

H 0 4 W 52/02 (2009.01)

【F I】

H 0 4 Q 7/00 4 2 3

【手続補正書】

【提出日】平成24年7月2日(2012.7.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

無線デバイスで使用するための方法であって、

前記無線デバイスが、メッセージリストを受信するために所定の時間間隔中にスリープモードからウェイクアップするような無線ネットワークに同期すること、

複数の宛先識別子および複数のメッセージポイントを含むメッセージリストを受信することであって、

前記複数のメッセージポイントの各々は、前記複数の宛先識別子からの宛先識別子と関連し、

前記複数のメッセージポイントの各々は、それぞれの異なるメッセージについて、前記メッセージがいつ受信可能になるかを示すタイミング情報と、前記メッセージの搬送波チャネル情報と、前記メッセージの符号情報と

を示している、前記メッセージリストを受信すること、および

前記複数の宛先識別子の1つが前記無線デバイスに対応するという決定にตอบสนองして、前記無線デバイスに対応する前記宛先識別子に関連づけられたメッセージポイントにより指し示されるメッセージを受信すること

を含むことを特徴とする方法。

【請求項2】

前記メッセージリストはさらに、前記メッセージリスト中の前記宛先識別子のカウントを含むことを特徴とする請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記メッセージリストはさらに、リストターミネータを含むことを特徴とする請求項1に記載の方法。

【請求項4】

次の時間間隔までスリープモードに戻ることをさらに含むことを特徴とする請求項1に記載の方法。

【請求項5】

無線デバイスであって、

メッセージリストを分析するように構成されているプロセッサであって、前記メッセー

ジリストは、複数の宛先識別子および複数のメッセージポイントを含み、
前記複数の宛先識別子の各々は、前記複数の宛先識別子からの宛先識別子と関連し
、
前記複数のメッセージポイントの各々は、それぞれの異なるメッセージについて、
前記メッセージがいつ受信可能になるかを示すタイミング情報と、
前記メッセージの搬送波チャネル情報と、
前記メッセージの符号情報と
を示している、前記プロセッサと、
前記複数の宛先識別子の一つが前記無線デバイスに対応するという決定に応答して、前
記無線デバイスに対応する前記宛先識別子と関連づけられたメッセージポイントにより指
示されるメッセージを受信するように構成されている受信機と
を含むことを特徴とする無線デバイス。